

理事会☆開催



第168回理事会が4月27日（月）午後から、愛車協事務室において、開催されました。

当該理事会は、先日の第31回総務委員会及び第35回正副理事長会で決議されたとおり、新型コロナウイルスの感染防止から書面による決議で最少人数（出席者4名、書面出席者12名）の開催となり、全員マスクを着用し間隔を開けての実施となりました。

金原理事長より「安全第一で書面決議という形の理事会となりました。2019年度決算は、皆様のお陰を持ちまして昨年度に続き黒字となりました。」とのお礼に続き、次の審議がなされ全て承認されました。

①新会員の入会について②2019年度の決算及び事業報告について③令和2年度事業計画(案)等について④辞任に伴う役員改選の件(案)⑤通常総会の運営について（最小人数（15人程）で開催し、極力、委任状により代理人をもって議決権を行使する。）

また、報告事項として5月より事務局に「牧野亜希」さんを雇用し、「伊藤純子」さんは引き継ぎ後、6月末で辞める予定です。詳細は、HPをご覧ください。<https://www.aishakyo.jp/news/topics1/>

監事監査☆総務委員会開催



2019年度の監事監査が4月21日（月）11時から柏木・水野両監事 ←により、愛車協事務室内において決算関係書類等の監査が行われました。

2019年度も昨年度に引き続いて6期連続の黒字決算となりました。

また、同日午後からは、第31回総務委員会及び第35回正副理事長会が開催され、理事会の開催は、新型コロナウイルスの感染防止から書面による

決議で最少人数の開催としました。詳細は、HPをご覧ください。<https://www.aishakyo.jp/news/topics1/>

H.30年度・共同購買等協力組合員BEST10

2019年度の共同購買高・斡旋手数料・HP等に、ご協力下さいました組合員数は、皆さまのお陰をもちまして、組合員数53%の65社が、ご協力をしていただきました。

ここにベスト10社を掲載して敬意を評させていただきます。

本年度もご協力の程よろしく申し上げます。

1. (有)光栄自動車
2. (株)加藤鋳金整備
3. (株)赤坂自動車
4. (株)ファブリアコミュニケーションズ
5. 新明工業(株) ボディサービスセンター
6. (株)加藤自動車鋳金
7. (株)大東工業
8. (株)関戸鋳金
9. カネマツ自動車(株)
10. (有)名和自動車



通常総会◎委任状提出を◎

日時：令和2年5月27日（水）14時～ 愛知県自動車会館会議室にて

*新型コロナウイルスの感染防止から多数の委任状提出をお願いいたします。

詳細は、愛車協HPをご覧ください。 <https://www.aishakyo.jp/news/topics1/>



新組合員誕生

先の理事会の承認を受けて4月から「瑞穂支部」の新組合員となっていただくことになりました。



- ・望月自動車工業所
- ・代表者：望月 千悦
- ・〒458-0847 名古屋市緑区浦里一丁目六番地の二
- ・TEL 052-891-5422 ・FAX 052-891-7415
- ・主たる業種：車の修理、钣金塗装
- ・ホームページ：<http://car-cv.com/>

特定整備工場の認証

4月施行の特定整備工場制度開始に伴い、愛車協のトップを切って4月1日付けで中部運輸局愛知運輸支局へ自動車特定整備事業の変更の申請書を提出したところ、4月13日付けで特定整備工場として認証をされて、工場に真新しい看板を掲示しました。

認証されたのは、「信晃興業株式会社（一宮支部・金原理事長）」 → → →
及び「有限会社ウメヤ自動車（西支部・赤梅支部長）」の両社です。



五月のつぶやき (._.) ス페인風邪 m(_ _)m

日本中「緊急事態宣言」が発せられても一向に勢いが治まらない「新型コロナウイルス」。

20世紀に入って以降、3回のパンデミックが記録されています。

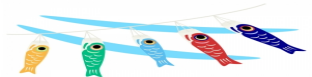
「スペイン風邪」は約100年前の1918年から1920年頃におきたインフルエンザによるもので、世界中で当時の世界人口の1/4程度に相当する5億人が感染した最初のパンデミックといわれています。



死者数は1,700万人から5,000万人と推計されており、1億人に達した可能性もあるそうですが、はっきりとした数字は明らかにはなっていません。

日本では約2300万人の患者と約38万人もの死亡者が出たそうです。（内務省統計）

「スペイン風邪」の第一波は1918年の3月に始まりますが、感染性は高かったものの、特に致死性ではなかったとされています。



第二波は10倍の致死率となり、しかも15～35歳の健康な若年者層にもっとも多く死亡がみられ、更に死亡の99%が65歳以下の若い年齢層に発生して、その後、第三波が起こっており、一年のタイムスパンで3回の流行がありましたが、これらの原因についてはよくわかりません。

名前の由来は、スペインで流行った風邪のようにイメージしてしまいそうになりますが、

なお、第一次世界大戦中に敵国に知られることを避けたかった独、英、仏、米の国々が病状や死亡の初期報告などを控えていたため、中立を保っていたスペインが公表したことから、「スペイン風邪」と呼ばれるようになったそうです。

当然、当時は抗生物質、ワクチンは発見されていなかったため、対策は、患者の隔離、接触者の行動制限、個人衛生、消毒と集会の延期といったありきたりの方法に頼るしかありませんでした。

多くの人が集まる場所では、自発的あるいは法律によりマスクを着用し、一部の国では、公共の場所で咳やくしゃみをした人は罰金刑になったり投獄されました。学校を含む公共施設は閉鎖され、

集会は当然禁止、患者隔離と接触者の行動制限を広く制限されました。

医師・看護師の感染者も多く医療体制が崩壊してしまったそうです。

現在の新型コロナウイルスと全く同じですね。一日も早い収束を願うばかりです。

今月は総会月で、資料作成にてんやわんやですが、今年新型コロナウイルスの感染防止から委任状の提出を必ずお願いいたします。 m(_ _)m (^o^) (y. m)

